

平成 17 年 9 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 富士通ゼネラル
代 表 者 名 代表取締役社長 大石 侑弘
(コード番号 6755 東証・大証・名証各市場第一部)
問 合 せ 先 常務取締役法務部長 篠原 俊次
TEL (044) 861 - 7627

固定資産の譲渡及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 9 月 22 日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡について

(1) 譲渡の理由

当社は、商品開発力の一層の強化を目的として、本社川崎地区の再開発を計画しておりますが、そのなかで一部余剰となった工場跡地について譲渡を行うものであります。

(2) 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	帳簿価額	譲渡価額	現況
川崎市高津区末長 1116 番地 3 の一部、土地 16,528.90 ㎡が対象	2,644 百万円	7,675 百万円	遊休地・一部 倉庫等として 利用中
合計	2,644 百万円	7,675 百万円	

(3) 譲渡先の概要

商 号	株式会社長谷工コーポレーション
本 店 所 在 地	東京都港区芝二丁目 32 番 1 号
代 表 者	代表取締役社長 岩尾 崇
資 本 の 額	500 億円 (平成 17 年 8 月 2 日現在)
大 株 主	(平成 17 年 3 月 31 日現在) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)
主な事業の内容	建設事業、不動産事業、エンジニアリング事業
当社との関係	なし

(4) 譲渡の日程

平成 17 年 9 月 22 日 取締役会決議
平成 17 年 9 月 22 日 契約書の締結
平成 18 年 3 月 31 日 譲渡資産の引渡し

2. 通期業績予想の修正について

上記固定資産の譲渡に伴い発生する更地化費用等を控除した約 30 億円程度の譲渡益については、平成 18 年 3 月期の単独決算及び連結決算において特別利益として計上を予定しております。

なお、他の損益変動要因については、エアコン部材の価格高騰、プラズマディスプレイの価格低下が今後も続くと見込まれます。また、特別損失として本社川崎地区の再開発費用などを計上する予定であり、これらを含めた平成 18 年 3 月期の通期業績見通しは下記のとおりです。

平成 18 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 7 月 26 日発表)	185,000	10,000	7,000	3,900
今回予想(B)	180,000	8,000	5,500	4,100
増減額(B - A)	5,000	2,000	1,500	200
増減率(%)	2.7	20.0	21.4	5.1
(ご参考)前期(平成 17 年 3 月期)実績	170,607	8,773	6,436	3,725

平成 18 年 3 月期の通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 4 月 26 日発表)	158,000	6,000	4,000	2,200
今回予想(B)	152,000	4,000	2,500	2,400
増減額(B - A)	6,000	2,000	1,500	200
増減率(%)	3.8	33.3	37.5	9.1
(ご参考)前期(平成 17 年 3 月期)実績	148,172	7,964	5,987	2,123

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上